

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

討論要旨 山下幹雄議員

反対の立場というか、ちょっとちゅうちょするところがあるということで、私の考え方等も含めて討論にしたいと思っております。

ワクチンにつきましては、新型コロナウイルスワクチンにつきまして、今でも進捗している状況であります。私の元に届きますいろいろなメッセージ、メールそして面談等によりまして、この新型コロナウイルスワクチンの国の施策、それに追隨する行政施策に対しては、多くの方が疑問を持っている。また、副反応やそして死者等の集計、統計等がしっかりできていない中で、疑念を多くの方が抱いているんですが、自由接種と言いつつも、やっぱり行政、政治が主導しますと、打たなくてはいけないということで打ってしまう国民、市民の方がいらっしゃいます。そうした判断を、政治が主導することについては大変疑問があるなど、ちゅうちょするところがある。

今回の带状疱疹関係でございます。今、民間の医院、病院等で8,800円のワクチン、そして2回打つ4万4,000円のワクチン、効果も違うそうです。こうしたワクチンは今でも打てるわけですが、今回の意見書で提案していこうというものは、この高価さのものを少しでもクリアにして、少しでも打ちやすいようにするように国に要望しようということで、全国の自治体でも、自治体としてそういった補助制度を設けてやっている自治体は幾つもウェブ上で確認することができます。

そうした中で、今のような懸念や疑念を市民が持っている人たちもいた場合に、私たちが議会でもう少し慎重にやって検証する、国などもそれに追隨する、の逆な立場ですね。国が下ろすのではなくて、地方自治体が上げていくというような形等もあるのかなというふうに思いますが。

この意見書でその財源等の手当て等の提案もなく、税の配分を要望していくようなこの意見書については、ちょっと疑念があるのと、ちゅうちょするところがある。市民に私自身がどういうふうに説明していいのかなというところもありましたので、今回は反対にさせていただきました。